

からふる

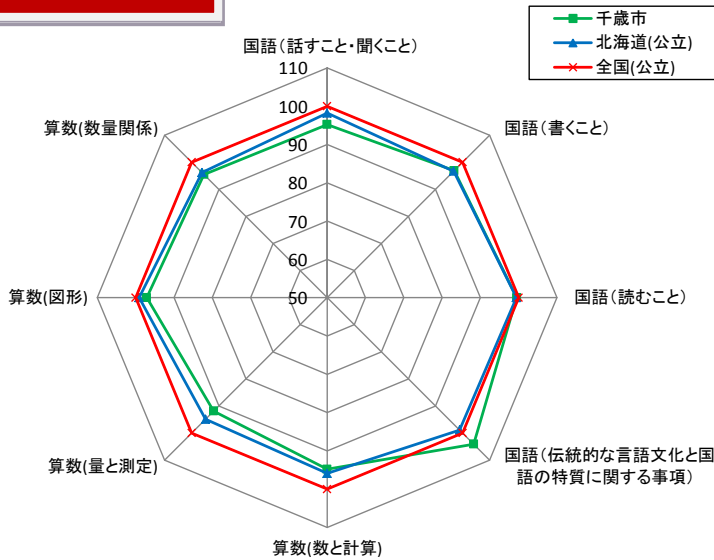
令和元年 11月 秋号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果

【小学校】 教科全体

国語、算数ともに前年度を上回る！



国語は、前年度を大きく上回り、全国との差を0.4ポイントに縮め、全国と同様の水準となりました。領域別では、4領域すべてに伸びが見られ、中でも「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、上昇幅が大きく全国を上回りました。算数は、前年度を上回り、全国より「相当低い」から「やや低い」状況となりました。領域別では、国語と同様に4領域すべてに伸びが見られ、中でも「図形」領域は、全国とほぼ同様の水準となっています。

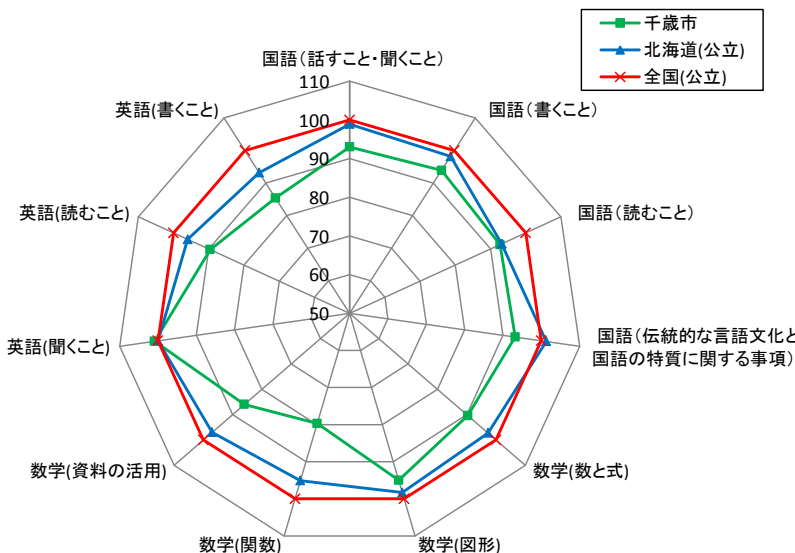
	国語 (全14問)	算数 (全14問)
千歳市	8.9問 63.4%	8.9問 63.4%
北海道	8.8問 62.8%	9.0問 64.5%
全国	8.9問 63.8%	9.3問 66.6%

上段：平均正答数、下段：平均正答率

○調査対象…小学校16校 第6学年 860名(北進小学校を除く。)

【中学校】 教科全体

国語、数学は、全国を下回り、
差が拡大！
英語は全国と比較してやや低い！！



国語は、全国を5ポイント下回り、全国との差は前年度より2.7ポイント広がりました。領域別では、全国には届かなかったものの、「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の2つの領域については、前年度の正答率を上回り改善が見られました。数学は、全国を6.4ポイント下回り、全国との差は、前年度より4.5ポイント広がりました。今年度から調査項目に加えられた英語は、全国を4.1ポイント下回りましたが、「聞くこと」の領域については全国を上回りました。

	国語 (全10問)	数学 (全16問)	英語 (全21問)
千歳市	6.8問 67.8%	8.5問 53.4%	10.9問 51.9%
北海道	7.2問 72.1%	9.3問 58.1%	11.4問 54.2%
全国	7.3問 72.8%	9.6問 59.8%	11.8問 56.0%

上段：平均正答数、下段：平均正答率

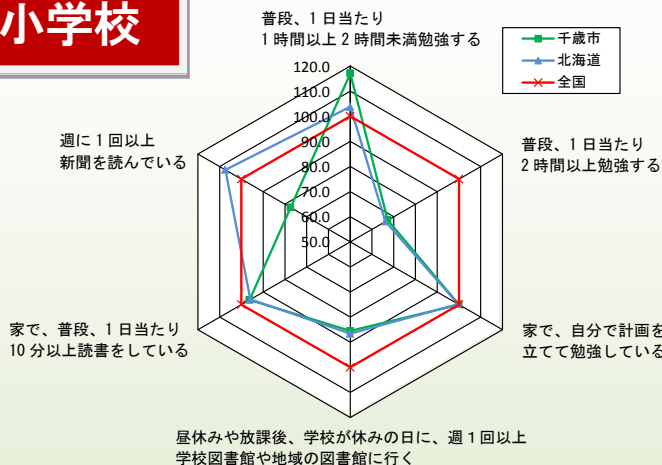
○調査対象…中学校8校 第3学年 805名(北進中学校を除く。)

※今年度調査から、前年度の知識問題(A問題)と活用問題(B問題)の区分を見直し、知識と活用力を一体的に調査する問題へ変更となりましたが、内容的には、これまでの活用問題(B問題)に近いことから、分析については過去の活用問題(B問題)の結果を用いて比較・検討しています。

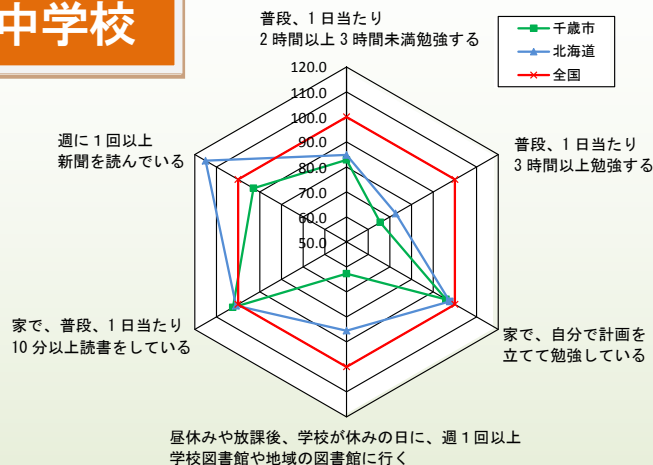
学習習慣

家庭生活の中で、小学生は読書、中学生は学習の時間を増やすことが課題！！

小学校



中学校



※ 今年度調査では、「家で学校の授業の予習・復習をしている」、「家で学校の宿題をしている」の質問項目が削除されたため、代替として「昼休みや放課後、学校が休みの日に、週に1回以上学校図書館や地域の図書館に行く」の質問項目を掲載しています。

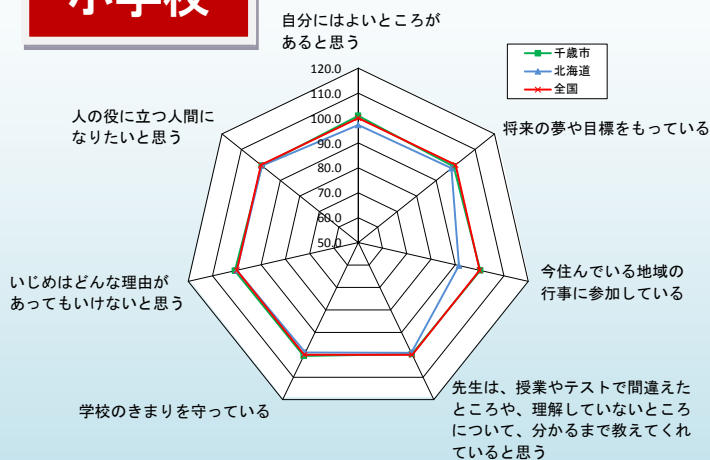
普段の家庭での学習時間については、**小学校では**、「1時間以上2時間未満勉強する」児童の割合が全国を上回り、「学年×10分+10分」の取組が定着している状況が見られるものの、「**2時間以上勉強する**」児童の割合は、**全国を大きく下回っており**、全国と比較すると**家庭での学習時間が少ない状況**が見られます。**中学校では**、「**2時間以上3時間未満勉強する**」「**3時間以上勉強する**」生徒の割合が、ともに**全国を下回っており**、**家庭での学習時間が少ない状況**が見られます。千歳市の小中学生は、家で自分で計画を立てて勉強に取り組んでいるので、そのよさを伸ばし、今後は、与えられた**課題以外の学習に主体的に取り組む態度を育てていくことが必要**です。

家庭での読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)については、中学校では、「1日当たり10分以上読書をしている」生徒の割合は全国を上回っていますが、小学校では、全国を下回っており、**小学生の読書習慣の形成に課題**が見られます。

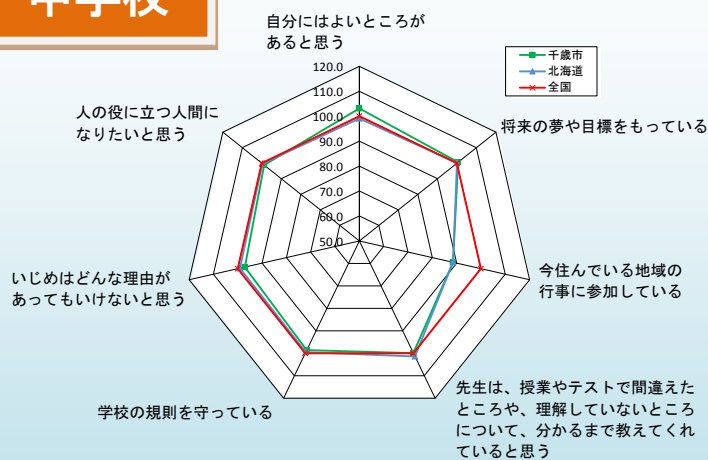
自己有用感・規範意識

児童生徒の自己有用感が高まっています！

小学校



中学校



「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校は全国と同様、中学校はやや高い状況であり、中学校に比べ小学生の方がやや低い状況が見られるものの、**小中学校ともに自己有用感が高い状況**が見られます。一方、自己有用感に深く関わる「**地域との関わり**」については、「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学生の割合が全国と同様であったのに対して、中学生は全国を大きく下回っており、学年が進むにつれて**地域との関わりに積極的に参加できていない状況**が見られます。

規範意識や他者理解については、全国とほぼ同様の状況となっています。

学校の特色ある取組を紹介します！

千歳小学校 千歳小 TRY ～やる気・自信を高める～



千歳小学校では、「千歳小TRY」をキーワードとして確かな学力の育成を目指して、さまざまな取組をしています。今年度も「学習意欲の喚起」「学習ルールの定着」「演習時間の確保」「指導方法の工夫」の4つの視点で、家庭との協力のもとで進めています。

家庭学習では、子どもたちのがんばりを認め励ますとともに、友だちの家庭学習のよい点を自分の学習に生かすことをねらいとして、1階ホールに「家庭学習コーナー」を設置しています。また「TRYプリント」のコーナーも設置して、自由に持ち帰って自主学習に活用できるようにしています。このプリントは各学年とも難易度別のプリントになっているので、宿題のプラスアルファとして、子どもたち一人ひとりの課題に合わせた内容を選択することができます。マスターを10個もらうことができた児童は「TRYマスター」として校長先生が表彰しています。これらの取組を通して、基礎的な学力の定着や学習意欲の向上が見られ、子どもたちのやる気と自信が高まっています。

信濃小学校 児童会活動 ～アイデアあふれる取組～



信濃小学校の後期児童会は、①あいさつを増やそう ②いじめをなくそう ③笑顔あふれる学校、という3つの柱を立てて活動しています。「笑顔で挨拶」は前期も活動の柱になっていました。9月に行われた「あいさつの城」は、書記局メンバーが「挨拶の城の番人」となり、古びた城を挨拶シールできれいにしようという活動でした。10月の「ライクスマイル」は「いろんな学年の人と仲良くしよう」をテーマに、違う学年同士が体育館に集まり、挨拶をして、サインをもらい合いました。どの活動も、みんなが仲良く笑顔であいさつができれば、いじめもなくなるという児童会役員の発想から生まれた活動です。信濃小学校で重点的に取り組んでいる「挨拶」は、子どもたちの自発的な取り組みに支えられています。

勇舞中学校 外部講師をお招きして ～外の世界からの情報を知る～

勇舞中学校では、外部人材を活用し、授業内容の一層の充実を図っています。6月には3年生の薬物乱用防止教室に北海道厚生局麻薬取締官の方を、2年生の情報モラル教室にLINE株式会社の方を、7月には1年生の非行防止教室に千歳警察署の方を、9月には3年生のライフプラン講習会にソニー生命株式会社の方をそれぞれお招きして、授業を行いました。また、公立千歳科学技術大学にご協力を頂き、eラーニング講習会や長期休業中の学習会、英検受験に関わるeカレッジ講習会を実施しています。1・2月には、スキーや箏の授業でも外部人材の方にご協力を頂き、教育内容の充実に向けていく予定です。



小中学校の留守電話システム ～11月5日(火)から市内全校に導入～

「からふる」夏号に「小中学校における勤務時間外の電話対応について(お知らせとお願い)」を掲載しましたが、先行実施校での検証を終え、11月5日(火)に市内全小中学校で留守番電話システム(録音機能なし)を導入しました。先行して実施した北陽小学校・勇舞中学校では、「時間外の電話対応等が減り、教員の多忙化や長時間勤務等の軽減につながった」などの成果がありました。

教員の長時間労働を改善し、健康で生き生きとやりがいをもって勤務することができる環境をつくるため、保護者の皆さまにおかれましては、学校への連絡は可能な限り勤務時間内にいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

留守番電話の運用時刻

- ◆小学校
平日 18時～翌朝 7時 30分
 - ◆中学校
平日 18時 30分～翌朝 7時 30分
(部活動のない日は小学校と同じ)
- ※曜日や時期によって、設定時刻よりも早く留守番電話に切り替わることがあります。
- 緊急のときは、千歳市役所代表電話「0123-24-3131」まで、ご連絡ください。



さいきんのわだい



千歳市の小学生が指宿市を訪問しました！

8月2日(金)から5日(月)まで、市内の小学6年生16名が姉妹都市の鹿児島県指宿市を訪問しました。平成6年の姉妹都市提携の翌年から始まった両市小学生の相互派遣交流事業は、今年で25回目を数えます。指宿市ではマリンスポーツやそうめん流しなどを行い、南国の暑い夏を体験したほか、ホームステイを通して指宿市の子どもたちと交流を深めました。

12月には指宿市の子どもたちを迎え入れ、ウィンタースポーツ体験などを行う予定です。



第24回「ふるさとポケット」を開催しました！

9月22日(日)にグリーンベルトで、「ふるさとポケット」を開催しました。今年度は千歳命名215年・開庁140年記念として、市民活動団体が活動成果や体験催事を行う「展示・体験グループ」、県人会による郷土料理の販売「お国自慢味処」、楽器演奏やダンスなどを発表する「ふるさぽケステージ」を行い、たくさんの方で賑わいました。

イングリッシュキャンプを開催しました！

千歳市では、子どもたちの英語への興味や関心を高めることを目的に、小学5・6年生を対象とした「イングリッシュキャンプ」を平成27年度から年に2回開催しています。

今年度2回目となる今回は、10月12日(土)に東小学校を会場として行われ、市内の小学5・6年生21名が参加しました。ALT(外国人英語指導助手)と一緒にクイズやゲームなどのアクティビティを楽しみながら、英語に親しむ一日を過ごしました。



第35回 英語暗唱コンテストを開催しました！

10月19日(土)に、北ガス文化ホールで「第35回 2019年 英語暗唱コンテスト」を開催しました。身近な外国語である英語を通して、国際色豊かな人材の育成と「ユネスコの精神」の普及を目的に、千歳市ユネスコ協会と千歳市教育委員会が主催しています。

今年度は中学生40名、高校生2名が参加し、中川あいかさん(青葉中3年)が会長賞、稲垣雄太さん(千歳中3年)が教育長賞を受賞しました。

北斗中学校 ～我が校の図書館～

▽読み聞かせ&ブックトーク▽ 北斗中学校では、昨年度から学校司書による「読み聞かせとブックトーク」を行っています。中学校で実践している学校は、市内でも珍しいかもしれませんが、生徒たちには好評です。10月は「言葉・辞書」と「戦争」をテーマとして、朝読書の時間に2年1組と2組でそれぞれ実施しました。

▽特集コーナー▽ 図書館の入口には、新聞記事や新刊図書などの特集コーナーを設けています。10月は、ノーベル化学賞を受賞した吉野彰先生の記事と「ろうそくの科学」を紹介しました。時事ネタをはじめ生徒会行事や授業とのコラボ企画などを通して生徒たちの読書への興味を高めています。



高台小学校 ～私たちのP活動～

高台小学校PTAは、会長以下11名の役員と事務局・教養委員会・広報委員会・生活委員会・合学委員会で構成されています。教養委員会はPTAバザーに向けて委員皆で子どもが喜びそうな小物を手作りしたり、秋には「教養講習会」を開催します。広報委員会はPTA広報誌「ねぐんど」の発行に向けて取材、撮影や紙面構成等に取り組んでいます。生活委員会は資源回収、スケート交換会やミニバレーボール大会の企画・運営を行っています。合学委員会は各学年の保護者同士の親睦を深めることを目的にPTAレクを企画・運営しています。その他、おやじ会によるPTAバザーの焼き鳥や各種PTAボランティア活動で広く保護者の方々に参加していただき、学校と保護者が一体となって活動を行っています。

編集・発行 千歳市教育委員会(千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所:千066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話:24-0819(直通) ■FAX:27-3743

■E-mail:kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL:http://www.city.chitose.lg.jp/